

家庭教育力サポート事業（啓発訪問） 実施要項

1 事業の目的

家庭はすべての教育の出発点であり、重要な役割を担っているが、家庭をとりまく社会環境の変化により、家庭教育を社会全体で支えていくことの重要性が高まっている。

そこで、学校や企業等へ県職員（家庭教育担当指導主事）を派遣し、家庭教育の重要性に対する理解を深めるための啓発活動や家庭教育の充実に役立つ学習情報の提供を行う「家庭教育啓発訪問」を実施することにより、家庭教育力のより一層の向上をめざす。

2 事業の内容

生涯学習・文化財課の職員が、幼稚園・認定こども園・保育所（園）、小学校、中学校等を訪問し、学校行事、就学時健康診断、入学説明会や家庭教育学級等、多くの保護者等が集まる機会を活用して講話等を行い、家庭教育の重要性について啓発を行う「家庭教育啓発訪問」を実施する。

3 内容

（1）使用教材

- ・小冊子『子育てハンドブック 3歳児のいいところミッケ！』（以下、『3歳児ミッケ！』）
- ・小冊子『子育てハンドブック 今こそ家庭教育』（以下、『今こそ家庭教育』）
- ・小冊子『さぬきの子育て 思春期サポートブック』（以下、『思春期サポートブック』）
- ・小冊子『ネットパトロールぴっぴ隊 幼児期の家庭教育とスマホ等とのつき合い方』（以下、『ネットパトロールぴっぴ隊』）
- ・パワーポイント版『早寝早起き朝ごはんで輝く君の未来～睡眠リズムを整えよう！～』文部科学省（以下、『睡眠リズムを整えよう』）
- ・その他、家庭教育や望ましい生活習慣づくりに関する資料

（2）講話内容

- ①「望ましい生活習慣づくりの大切さについて」
 - ・『3歳児ミッケ！』や『今こそ家庭教育』等を用いて、望ましい生活習慣づくりの大切さについてお話しします。
 - ・「幼児期の家庭教育とスマホ等とのつき合い方」に重点を置いた講話も可能です。（ただし、実施対象は、幼稚園・保育所・認定こども園のみ）
- ②「子どもの自立を促していくかかわり方について」
 - ・『3歳児ミッケ！』や『今こそ家庭教育』、『思春期サポートブック』を用いて、過保護や過干渉を避け、子どもの自立を促すかかわり方についてお話しします。
- ③「日々の生活から身につく社会性や規範意識について」
 - ・『今こそ家庭教育』や『思春期サポートブック』を用いて、心の安定のもとに身につく子どもの社会性や規範意識についてお話しします。
 - ・「幼児期の家庭教育とスマホ等とのつき合い方」に重点を置いた講話も可能です。（ただし、実施対象は、幼稚園・保育所・認定こども園のみ）

（3）講話時間

40分～1時間程度

年 月 日

家庭教育力サポート事業

家庭教育啓発訪問 申込書

団 体 名	
代表者職・氏名	
担当者職・氏名	
所在地等	〒 TEL — — : FAX — — メールアドレス:

希 望 日 時	第1: 年 月 日() 時 分 ~ 時 分 第2: 年 月 日() 時 分 ~ 時 分
希望する内容 (□にチェックを してください。)	<input type="checkbox"/> 「望ましい生活習慣づくりの大切さについて」 <input type="checkbox"/> 「子どもの自立を促していくかかわり方について」 <input type="checkbox"/> 「日々の生活から身につく子どもの社会性や規範意識について」 ※2つの内容を希望することも可能ですが、内容を充実させるため、1時間 程度の時間を確保していただきますよう、お願いします。
参加予定人数	名
会場の所在地等	会場名 _____ 〒 TEL — — : FAX — — * 団体所在地と同じ場合は、記入不要です。

* 香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課家庭教育啓発訪問担当あてにご送付ください。
 FAX:087—831—1912 (FAXの場合は、鑑文不要ですのでそのまま送信してください)

年 月 日

家庭教育力サポート事業「家庭教育啓発訪問」実施記録票

団体名	
代表者職・氏名	
団体の住所等	〒 TEL FAX

記入者・連絡先	氏名 TEL
---------	--------

参加者数	
------	--

実施しての感想・要望等

ご記入ありがとうございました。

鑑文等不要ですので、郵送またはFAXで下記までお送りください。

香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課 家庭教育担当 (FAX)087-831-1912